

令和5年度事業報告

公益財団法人交通文化振興財団

令和5年度は、5月に新型コロナウイルス感染症の感染法上の分類が変更され、社会がコロナ禍前の日常へと戻る一年となった。そのような社会情勢の変化の下、当財団においても感染防止に十分注意を払いながら制限のない事業活動への回帰を進めた。

京都鉄道博物館においては、企画展や春・夏の多客期イベントに加え、冬季に大型イベントを開催したほか、企画展関連イベント等も効果的に展開し、入館者数の獲得に努めたが、6～8月、1月は前年を上回ったものの他は下回り当年度の有料入館者数は687千人（対前年101.6%、対目標85.9%）となった。

事務局では、交通資料調査センターにおいて、個人からの寄贈を中心とした資料の収集やそれら資料の整理・保存、歴史的物の調査を継続的に行うとともに、デジタルアーカイブ「交通文化振興財団デジタル資料館」の運営や、外部の企画への調査・資料協力などを通じて交通の歴史資料を保存する意義の社会への浸透を図った。また、事務局ブログ等のweb媒体を活用し、情報発信や寄附金懇話活動を実施した。

I 博物館運営等を通じた交通文化の振興

1 京都鉄道博物館

(1) 常設展示

ア 新規展示

- ① 本館1F 489形1号車に絵入りヘッドマーク「雷鳥」展示（4月）
- ② 本館1階「鉄道のあゆみ」クハ481形・クモハ100形1/20模型（5月～3月）
- ③ 本館2階「関西の鉄道」阪神タイガース優勝記念きっぷ3種（11～3月）
- ④ 本館1階「車両工場」等での車両展示
113系電車（4/13～18）、JR四国「ゆうゆうアンパンマンカー」（6/29～7/11）、キハ189系乗入れツアー（5/20、9/23、3/24）、カニ24形（6/15～25）、JR貨物EF210形・EF66形・キ107形・ヨ8000形（10/19～11/5）、117系イベント展示（11/7～26）、999装飾車両（C621、マイテ491）展示（1/11～2/4）、「もうひとつの京都」ラッピングトレイン&バス特別展示（2/22～26）、「WEST EXPRESS 銀河」（3/7～11）

イ 展示品整備

鉄道ジオラマの模型車両のモーター・台車の整備調整、「列車を安全に走らせよう」の車両及び線路メンテナンス、運転シミュレータのメンテナンス、パンタグラフ修繕、展示車両修繕（キハ81形ドア修繕、EF81形車体塗装、500系前照灯修繕、581系台車覆い取替、581系電気系統修繕）、実物車両内電灯交換、実物車両前照灯交換 等

ウ 特別な車両公開

土曜・日曜・祝日に車内の特別公開を実施した。（毎月1車両）

4月0系新幹線電車35形1号／5月0系新幹線電車16形1号／6月キハ81形3号／
7月100系新幹線電車122形5003号／8月クハ489形1号／9月500系新幹線電車521形1号／
10月モハ80形1号／11月EF52形1号／12月100系新幹線電車122形3005号／

1月クハネ581形35号／2月500系新幹線電車521形1号／3月オロネ24形4号

エ 施設、設備工事

- ① 消防設備、空気環境測定、水質検査測定等の定期点検対応
- ② COVID-19対策全面緩和にともなう各所清掃
- ③ 大型機器保守点検、防火シャッター点検、AED日常点検及び機器更新
- ④ 館内サイン類の統一及び多言語対応

オ 資料収集

資料受贈59件2,491点（新幹線部品、制服、ヘッドマーク、乗車券類、写真等）

図書室利用3,786人、質問139件（特急の歴史、軽便鉄道、ホーム高さの違い、奈良線の歴史、森之宮電車区の成立、現役の貨物車両、鉄道連絡船の船内等）

(2) 企画展、資料展

ア 企画展等

- ① 企画展「駅にまつわるテクノロジー展」（5/20～7/2）
大阪駅「うめきた」開業、ICOCA20周年、キヨスク愛称50周年を記念し、最新の顔認証改札機やホームドア等、“駅”の鉄道技術の革新について解説。講演会「世界初自動改札機はこうして誕生した！」（6/18田中壽雄氏）を実施
- ② 企画展「モノを運ぶ鉄道展」（9/16～11/26）
1873（明治6）年の貨物鉄道営業開始から150年を記念し、関西における貨物鉄道輸送の特色や貨物駅の変遷を中心に解説。講演会「鉄道コンテナ輸送の運賃を計算してみよう」（10/14酒井洋一氏）、京都貨物駅見学（10/22）、エコレールマーク出張型教室（11/11）、吹田貨物ターミナル駅見学（11/18）、コンテナ弁当等販売、記念ロゴのトレインマーク掲出を実施。貨物機関車の転車台展示・区名札掲出を実施（9633（10/7～9）、D51-1（10/14・15）、D50-140（11/3～5）、D52-468（11/23・25・26））
- ③ 企画展「鉄道と広告」（2/10～3/3）
新収蔵した旅行キャンペーンポスターを中心に、「鉄道広告」の紹介として明治期から現在までの引札や観光パンフレット、キャンペーンポスターなどを展示

イ 収蔵資料展等

- ① 「鉄道制服」（12/3～4/2）※令和4年度からの継続
- ② 「駅名標いろいろ」（4/8～7/30）
- ③ 「模型で見る貨物列車」（8/5～11/26）
- ④ 「鉄道と冬のレジャー」（12/2～3/31）

ウ 収蔵写真展

- ① 「カラーで見るいろいろな列車」（12/10～4/9）※令和4年度からの継続
- ② 「昭和・平成の駅前風景」（4/15～7/23）
- ③ 「貨物列車が活躍する風景」（7/29～12/3）
- ④ 「おめかしトレイン」（12/9～4/7）※令和6年度へ継続

(3) イベント等

ア 各種式典等

- ①「117系収蔵記念式典」(7/29)
- ②「ICOCA20周年記念イベント」(11/23～26)
- ③「入館者600万人達成記念セレモニー」(1/27)
- ④「SLスチーム号200万人達成記念セレモニー」(3/20)

イ 集客イベント

- ①春イベント「プラレールフェスティバル in 京都鉄道博物館」(2/25～5/7) ※令和4年度からの継続
- ②夏イベント「京都桃鉄博物館～目的地！京都鉄道博物館に到着です！」(7/15～9/3)
- ③冬イベント「銀河鉄道999展」(12/9～2/4)
- ④春イベント「チャギントンランドMINI in 京都鉄道博物館」(3/16～5/6) ※令和6年度へ継続

ウ 地域連携イベント(館内実施)

- ①鉄道警察隊×京都鉄博コラボイベント「だれもが安心して乗れる電車へ」(5/14)
- ②救急防災フェア in 京都鉄道博物館(9/9)
- ③陸上自衛隊 in 京都鉄道博物館(3/9)

エ 地域協力イベント(館外実施)

「嵯峨鉄まつり」(6/21)、OSC「ナツノレイル」(7/15～16)、「さかのトロッコ夏祭り！」(8/23)、
「下京・京都駅前サマーフェスタ2023」(9/2)、科博連「サイエンスフェスティバル」(2/4)、京
都市観光施設協議会「施設紹介カード」、京の夏の旅「観光施設ととくサービス」、歴史街道デジ
タルスタンプラリー、京の冬の旅「観光施設ととくサービス」、京都ミュージアムロード「スタン
プラリー」、京都駅ビルグルメフェア

オ 鉄道の日イベント

- ①関西私鉄が京都鉄博にやってきた！～近鉄・南海編～(9/30～10/1)
- ②京都ミュージックキャラバン(10/14)
- ③トークショー「空から見る貨物駅」(10/29)
- ④ナイトミュージアム(10/27～29)

カ 定例イベント

- ①開館7周年記念イベントの開催(4/29～5/31)
記念式典、大瀬戸千嶋コンサート、記念硬券配布、マスクングテープアート、義経号の屋外展示等
- ②新春SL頭出し展示(1/2～8)
- ③京都鉄博LINE公式アカウント友だち限定大感謝DAY!!(3/30)

キ その他イベント

- ①「京都鉄道らくご博物館」(2/24)
- ②「ペットと写真を撮ろう in 京都鉄道博物館」(3/6)
- ③「仮面ライダーガッチャードショー」(3/16～17、23～24)

(4) 定例行事・活動

ア 鉄道ジオラマの運転 : 2,238回、観覧者数242,485人(約108人/回)

イ SLスチーム号の運転: 運転回数2,775回、乗車人員215,250人(約83人/回)

(5) 広告・宣伝・誘致活動

項 目	数 量
ア JR媒体	
(ア) ポスター等の掲出	(イベント、通年ポスター) 9件
(イ) デジタルサイネージ等の掲出	9件
(ウ) 西 NAVI、ウエスト倶楽部会報誌等の掲載	10件
イ チラシの配布 (通年、イベント)	3件 計 14,000 枚
ウ マスコミへのパブリシティの配布 (関係記者クラブ、出版関係各社等)	合計約 250 箇所へ配布 51 回
エ 誘致活動	
(ア) ホームページアクセス件数 (2023. 4. 1～2024. 3. 31)	2,011,725 件 (1日平均 5,500 件)
(イ) フェイスブック投稿件数	233 件(1ヶ月平均 19.4 件)
(ウ) マスコミ取材対応	304 件
(エ) LINE@による情報配信	
・お友達登録数	94,491 人 (年度末総累計)
・情報配信 (クーポン配信含む)	11 件(1ヶ月平均 0.9 件)
(オ) インスタグラム投稿	125 件 (1ヶ月平均 10.4 件)
(カ) Twitter 投稿件数	358 件(1ヶ月平均 29.8 件)

(6) 教育普及活動

ア ワークショップ等の実施

- ①車両解説セミナー：「489 形 1 号車」(5/13～14)、「ヨ 5000 形・ワム 3500 形」(10/8～9)、「DD5 形 756 号機」(2/10～11)
- ②展示品解説セミナー：「硬券印刷機」(7/8～9、9/9～10、1/7～8)
- ③工作教室：「オリジナルトレイン缶マグネットをつくろう」(6/10～11)、「車輪の缶バッジを作ろう」(12/23～24)、「Nゲージを走らせよう！！」(3/2～3)
- ④鉄道おしごと体験：運転士(4回)、車掌(2回)、駅(6回)、車両・機械・電気・保線・指令(各1回)
- ⑤館内ガイドツアー：「事前予約で楽しむ京都旅」(京都市観光協会連携 年間計 17 回実施)
- ⑥その他：「扇形車庫ピット探検！」(4/15～16)、こどもサイエンスワークショップ「空気と遊ぼう」(8/8～10)、鉄道映像上映「梅田駅のコンテナ輸送」(11/11～12)

イ 講演会等の実施

- ①「おとなの学び講座」：(5/18、6/15、7/20、9/21、10/14、11/16、12/16、1/18、2/15)
- ②3 館長トークショー (11/23 大宮、1/21 名古屋、3/20 京都)
- ③館長トークショー「EXPO' 70 大阪万博から 117 系の登場まで」(11/19)

ウ 実習等の受け入れ

- ①学芸員実習 6 名 (8/21～25)
- ②SDGs プログラム 入門編 3 校、初級編 2 校、中級編 2 校、上級編 1 校

③職業体験：14名（5月、7月、9月、11月、1月に実施）

（京都市）八条中学校、栗陵中学校、檜原中学校、西京高等学校附属中学校、開晴中学校、
（京都市外）箕面市立第四中学校、京都府立盲学校、京都市立栗陵中学校

エ 外部講座への出講

- ①京都ロータリークラブ（6/14）、企業家研究フォーラム（7/9）、大阪府高齢者大学校（9/15）、東灘ロータリークラブ（2/5）、日本旅行「キハ189系で行く京都鉄道博物館 SDGs 学習の旅」（3/24）、京都市立大塚小学校（6/29）、大谷大学「日本史の会」大会（7/29）、全国大学博物館学講座協議会西日本支部会（11/17）、京都市立梅小路小学校（11/28）
- ②京都市教育委員会主催、令和5年度第1回博物館講座の開催（11/21）
- ③まいまい京都主催、学芸員ツアーの開催（8/20・8/27・1/14）

(7) 博物館関係コミュニケーション活動等

- ア 全国博物館館長会議（7/5）、全国博物館大会（11/15～16）、関西博物館連盟総会（12/11）、京都市内博物館施設連絡協議会総会（6/27）、京都市科学系博物館等連絡協議会総会（9/27）
- イ 全国科学博物館協議会「令和5年度第1回総会」（7/6～7）、「令和5年度第2回総会」（2/21）
- ウ 京都市観光協会総会（5/14）、京都市観光施設協議会例会（5/19）
- エ 香港鉄道博物館研修受入れ1名（12/10～12）
- オ 鉄道工友会 西日本支部 WEB 講演会（2/8）
- カ 行政等の視察受入れ（主なもの：新見市長、北京故宮博物院、青島地下鉄関係者、社団法人国際高速鉄道協会、英国国立科学博物館連盟、神戸経済同友会、文化庁、中国湖南省）
- キ 京都市帰宅困難者対策訓練（12/14）、講演会（2/21）

(8) 施設時間外利用

- ア 休館日貸切利用：1件…日本保育協会（11/1）
- イ 時間外貸切利用：23件…京都府教職員互助組合（7/29）、京都府市町村職員厚生会（8/19）、京都銀行従業員組合（5/27）、タキイ種苗（8/25）、堀場製作所（10/16）、リロクラブ（12/9、1/9）、JR東海リテイリング・プラス（1/20）、個人等

(9) 入館者数の状況（入館者数の詳細は「別表1」のとおり。）

（単位：千人）

項目	京都鉄道博物館
令和5年度	687

2 事務局における文化遺産調査及び交通資料の収集・保存に関する事項（交通資料調査センター）

交通に関わる文化遺産の調査や歴史資料の収集・保存については、交通文化の継承と資料の散逸防止及び今後の公益活動の充実のため、財団事務局内の交通資料調査センターにて引き続き活動を実施した。令和5年度においては、資料の寄贈申し込み件数が増加するとともに、鉄道に関する展示への協力や講演の実施など外部と連携した活動にも取り組んだ。主な交通に関わる文化遺産の調査及び交通資料の収集、保存、公開の活動は以下のとおりである。

(1) 交通関係歴史資料の収集・保存

交通に関わる歴史資料を適切な環境で保存、管理するため、収集、整理・整備を行い、写真資料や乗車券類等の収蔵資料のデジタル化作業を実施した。また、資料の適性に合わせた保存環境の整備を進めた。

- ・ 図書・資料の購入 59 点
- ・ 受贈 78 件 7,182 点
- ・ 資料・図書の整理・登録 資料 2,959 点
- ・ 資料のデジタル化 8,429 点

(2) デジタルアーカイブの運営

交通資料調査センターの所蔵資料を web にて公開する、デジタルアーカイブ「交通文化振興財団デジタル資料館」に掲載データの追加等を実施した。

令和5年度末点数	16,688 点
令和4年度末点数	14,467 点
年度内追加点数	2,221 点

(3) 文化遺産調査

日本各地に残された交通に関する施設や建造物、車両、文書等の文化遺産について、文化遺産の現状確認と来歴や諸元等を記録保存するための現地調査及び文献による事前事後調査を実施し、文化遺産の後世への継承に努めた。

調査事物：14 件

(4) その他

- ・ 財団ホームページの「事務局ブログ」を活用し、収蔵資料等に関する情報発信を行った。
- ・ 事務局内に図書の閲覧スペースを設置し、閲覧対応及び調査・研究への協力を実施した。
- ・ 博物館等に対して所蔵する資料、画像の貸出を行い資料の活用を進めた。また、新たに開設される鉄道展示施設への展示協力を実施した。
- ・ 公立博物館と共同による歴史講座の実施や動画により歴史遺産を紹介する web 見学会の配信。
- ・ 外部有識者との連携により、活動における公益性の担保及び内容の充実を図った。
- ・ 現地調査の機会を利用して事物の管理団体との情報交換を実施した。

II 財団運営に関する事項

1 本年度の役員等の異動

(1) 評議員

《退任》 伊藤 敦子、多田真規子、福山 隆夫 以上 令和5年6月16日付

《新任》 飯田 稔督、木村 法雄、吉江 則彦 以上 令和5年6月16日付

(2) 理事

《退任》 木村 法雄、新田 雅巳 以上 令和5年6月16日付

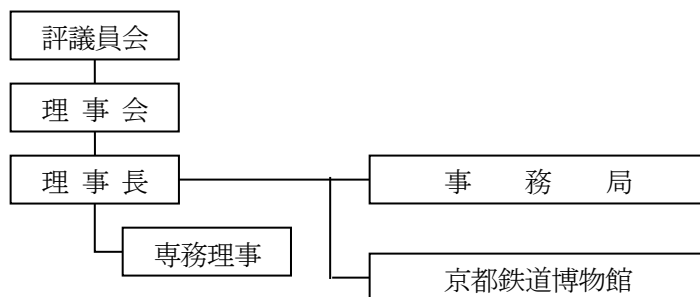
《新任》 高畠 雅彦、西浦 広伸 以上 令和5年6月16日付

令和6年3月31日現在の評議員、理事、監事は[別表2]のとおりである。

2 財団組織

(1) 組織

(令和6年 3月31日現在)



(2) 構成員

(令和6年 3月31日現在)

事業所名	職員	嘱託	計
事務局	4	—	4
京都鉄道博物館	17	1	18

- ・役員を除く。
- ・京都鉄道博物館の職員のうち1名はJR西日本からの出向者。
- ・京都鉄道博物館の職員のうち2名は事務局兼務。
- ・上記以外に事務局にて臨時雇用員を2名、京都鉄道博物館にて準職員1名、臨時雇用員2名を雇用している。

(3) 会議

ア 評議員会

第20回評議員会（定時評議員会）

(ア) 日時 令和5年6月16日

(イ) 場所 ホテルグランヴィア大阪

(ウ) 目的事項

① 決議事項

- 第1号議案 令和4年度決算の件
- 第2号議案 評議員6名の選任の件
- 第3号議案 理事7名の選任の件
- 第4号議案 常勤理事の報酬額決定の件

② 報告事項

- 報告1 令和4年度事業報告の件

イ 理事会

第44回理事会

(ア) 日 時 令和5年5月22日

(イ) 場 所 ホテルグランヴィア大阪

(ウ) 目的事項

- ①決議事項 第1号議案 令和4年度事業報告の件
- 第2号議案 令和4年度決算の件
- 第3号議案 第20回評議員会（定時評議員会）招集の件

- ②報告事項 報告1 職務執行状況報告の件
- 報告2 西日本旅客鉄道株式会社に係る代表理事理事長の利益相反取引の報告の件
- 報告3 資金運用報告の件

第45回理事会（みなし決議）

(ア) 提 案 者 理事 前田 昌裕

(イ) 提案の内容 第1号議案 代表理事理事長及び代表理事専務理事の選定の件
第2号議案 理事長に事故があるときの順序の件

(ウ) 決議があったとみなされた日 令和5年6月21日

（監事による異議（定款第38条第2項）なし）

第46回理事会

(ア) 日 時 令和6年3月1日

(イ) 場 所 ホテルグランヴィア大阪

(ウ) 目的事項

- ①決議事項 第1号議案 令和6年度事業計画書の件
- 第2号議案 令和6年度収支予算書の件
- 第3号議案 令和6年度資金調達及び設備投資の見込みの件

- ②報告事項 報告1 職務執行状況報告の件

(4) 内閣府へ届出

- ・令和5年6月30日 事業報告等の提出
「令和4年度財産目録」「令和4年度貸借対照表」「令和4年度正味財産増減計算書」等
- ・令和5年7月14日 変更の届出（役員等の変更）
「役員等の名簿」「履歴事項全部証明書」等
- ・令和6年3月28日 事業計画書等の提出

「令和6年度事業計画書」「令和6年度収支予算書」「令和6年度資金調達及び設備投資の見込みについて」、「第46回理事会議事録の写し」

3 寄附金の受入れ

個人及び団体より寄附金の申し込みがあり、下記のとおり受入れた。

- ・一般寄附金 個人 18件（うち継続寄附 8件）
団体等 1件

4 その他

(1) 財団事務局ブログ運営

- ・更新 44回、年度累計 90,876PV

(2) 寄附金の懇話活動

- ・ホームページ及び事務局ブログによる寄附お願いの掲載・発信
- ・団体、個人へのパンフレットの配布
- ・寄付月間（12月）の賛同パートナーへ登録し、パンフレット・オリジナルカレンダーの送付等の寄附金懇話活動を実施。

III 関連事業

博物館来館者の利便に資するとともに、当法人が健全な発展を図るための収益事業として、京都鉄道博物館にて鉄道に関する各種のグッズ、土産品、飲食物などの販売を行い、下記の収益を得た。

単位：円

項目	物品販売収入	営業料収入	計
金額	5,330,900	20,452,579	25,783,479

[別表1]

令和5年4月1日～令和6年3月31日

	種 別		令和5年度 (千人)
京都鉄道博物館	個人	大 人	445.5
		大学生・高校生	19.1
		中学生・小学生	82.6
		幼 児	95.2
		計	642.4
	団 体	大 人	9.7
		大学生・高校生	1.6
		中学生・小学生	18.2
		幼 児	15.6
		計	45.1
	合 計		687.5

[別表 2]

評 議 員 名 簿

氏 名	現 職
飯田 稔督	西日本旅客鉄道株式会社 理事地域まちづくり本部地域共生部長
木村 法雄	東日本旅客鉄道株式会社 常務執行役員
澤井 潔	公益財団法人鉄道総合技術研究所 監事
正司 健一	神戸大学名誉教授
南條 正幸	関西鉄道協会 専務理事
吉江 則彦	京都駅ビル開発株式会社 監査役

理 事 名 簿

役 職	常勤 ・非常勤	氏 名	現 職
理 事 長	非常勤	長谷川一明	西日本旅客鉄道株式会社 代表取締役社長
専務理事	常勤	前田 昌裕	公益財団法人交通文化振興財団 専務理事
理 事	非常勤	小澤 裕一	西日本旅客鉄道株式会社 理事経営戦略本部コーポレートコミュニケーション部長
理 事	非常勤	佐伯 洋	一般社団法人日本鉄道車輛工業会 参与
理 事	非常勤	高畠 雅彦	四国旅客鉄道株式会社 取締役総務部長
理 事	非常勤	西浦 広仲	東日本旅客鉄道株式会社 総務・法務戦略部ユニットリーダー
理 事	非常勤	美里 隆司	公益財団法人日本交通公社 理事

監 事 名 簿

役 職	常勤 ・非常勤	氏名	現 職
監 事	非常勤	小嶋 裕之	西日本旅客鉄道株式会社 理事経営戦略本部財務部長
監 事	非常勤	竹山 健二	公認会計士

令和6年3月31日現在 五十音順（敬称略）

令和5年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、作成しない。

令和6年5月

公益財団法人交通文化振興財団